

## 道の駅スタープラザ芦別、レストランがリニューアルオープン



9月29日、道の駅スタープラザ芦別レストラン「ラ・フルール」で、リニューアルセレモニーが行われました。

これは、「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金」を活用し、テーブルや椅子、サイドカウンター、額縁を導入したものです。

テーブル等は市内の滝澤ベニヤ株

式会社（滝澤量久社長＝写真＝）が開発した合板「ペーパーウッド」で作った特別仕様です。

式典で荻原市長は、「道の駅は観光の中核施設として年間38万人の利用があり、これを機会にさらに多くの皆様に利用して頂き、芦別の魅力発信の場としたい」と述べていました。

## 好天の秋空の下、多くの市民がスポーツなどに楽しむ

10月10日、第45回市民ラジオ体操会兼第56回市民あるけあるけ運動と、スポーツ少年団交流会がなまこ山総合運動公園の会場で開催されました。

市民の健康・体力づくりを目的としている毎年恒例の行事です。

ラジオ体操では、幼児から大人ま

で約200人が参加。新型コロナウイルス感染症対策で人と人との間隔を開けて行われました。

あるけあるけ運動では、5ヶ所は道の駅コース、8ヶ所は旭ヶ丘公園コースで行われ、参加した皆さんは好天の下、健康づくりの秋に、さわやかな汗を流していました。



## 星の降る里あしべつ杯パークゴルフ大会を開催



第10回星の降る里あしべつ杯パークゴルフ大会が10月11日、なまこ山総合運動公園市民パークゴルフ場で開催されました。

主催する芦別市と教育委員会が芦別パークゴルフ協会と協力して、パークゴルフの普及と健康増進や親睦交流を目的に行い、昨年から大会名

が変更されて今回で10回目です。

当日は時おり小雨のぱらつく中、41人の参加者が11組に分かれてラウンドを開始。前日から続いた雨でコースコンディションの悪い中、自慢の腕前を披露していました。

優勝者や入賞者には優勝カップと記念品が贈呈されました。

## 「芦別・新城線」の運行に新車導入、案内表示デザインは星槎高生

10月1日、市から「芦別・新城線」の運行業務を受託している共立タクシー有限会社は、この路線を運行するにあたり、利用者が快適に乗車できるよう、新車のジャンボタクシーを導入しました。

新車の外装には、星槎国際高校の生徒が作成したゆるキャラがプリン

トされているほか、乗合タクシーや行き先などの案内表示も作成していて、視認性の高いデザインとなっています。

同社では新車の導入に伴い「多くのかたにご利用いただきたい」と運行の周知に努めています。

